



長野図書館の花壇

図書館周辺の花壇では四季折々に咲く植物が植栽されています。
その花壇を管理している緑のボランティアさんがいます。休館日には、
除草や整備、そして道路に面した花壇には年2回、季節の花を植栽しています。
いつもありがとうございます。



緑のボランティアさんは、夏場の猛暑は少々大変ですが、作業が終わった後の休憩はお茶を飲んで、皆さんとお話するコミュニケーションの時間も含めて楽しく作業しています。お花が好きな方、園芸が好きな方・・・緑のボランティアさん募集中です。

そして図書館の花壇には、早春にはピンクと白に染まる「魯桃桜」があります。最近では、過去の台風の影響や年々生い茂る周りの木々に侵食され、少々元気がなくなってきているような気がします。今年は手をかけ、目をかけ元気が戻るよう管理したいと考えております。以前緑のボランティアさんが、魯桃桜の実を集めてプランターに植えてくれました。

発芽した小さい苗たちを植え替えて花が咲くまで大事に見守りたいです。

図書館のシンボルツリーともいえる「魯桃桜」と花壇たち、これからも緑のボランティアさんと一緒に大切にしていきたいです。



今月のテーマ

「元気なカラダを保つ！免疫力」

12月から引き続いてのテーマです。詳しくは「魯桃桜」12月号(459号)をご覧ください。

【1月映画上映予定 午後2時から3階視聴覚室】

10日(土)

タイトル:「海の上のピアニスト」字幕・カラー・121分

監督:ジュゼッペ・トルナトーレ

CAST:ティム・ロス／プリティット・テイラー・ヴィンス

メラニー・ティエリー

<1998年 アメリカ・イタリア合作作品>



24日(土)

タイトル:「アイ・ラヴ・ユー」字幕・カラー・111分

監督:大澤 豊／米内山明宏

CAST:忍足亜希子／田中 実／岡崎 愛／不破万

作／西村知美／本宮泰風／宍戸 開／黒柳徹子

<1999年 日本作品>

図書館カレンダー

■・・・休館日

開館時間 平日 9:45～19:00
土日祝 9:45～18:00

1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

新刊案内

『フェイクに惑わされないための情報を見抜く技術』瀬戸口 誠／著 《007.5セ》

情報リテラシーを習得し、必要な情報を効率的かつ効果的に調べるコツを解説。主題による検索の手順と正しい情報にたどり着くための基本的な情報検索の技法、公的機関が提供する情報検索支援サービスを紹介する。

『傷つけ合う子どもたち』石井 光太／著 《371.4イ》

現代のいじめ、同調圧力、性加害、児童ポルノ、マウント合戦…。子どもを取り巻くトラブルのメカニズムを徹底解説し、「なぜ加害が起きるのか」「どう被害が拡大するのか」を親目線で丁寧に紐解く。

『「自分が嫌い病」の子どもたち』成重 竜一郎／著 《493.93ナ》

抑うつ、自傷行為、過量服薬、過食・嘔吐…。なぜ、子どもたちは自分自身を嫌うのだろうか？ 児童精神科医が、“理想の自分”と“本当の自分”の間で揺れ動く子どもたちの心とサポート法を解説する。

『豊臣家の包丁人』木下 昌輝／著 《Fキ》

屑として捨てられていた雉の内臓を使った汁、戦の前に即席のかまどで焼いた下魚の蒲鉾、秀吉と秀長の故郷の味…。豊臣家の天下統一の陰には、凄腕の料理人がいた！ 戦国時代の料理に光をあてた天下取り物語。

『BOXBOXBOXBOX』坂本 湾／著 《Fサ》

宅配所で肅々とはたらく作業員たちのあいだで、レーンに流れてくる荷物を仕分け、箱の中身を妄想する安。中身と妄想の「答え合わせ」をしたいという欲望に蝕まれ、中身を覗きみることに成功すると…。『文藝』掲載を単行本化。

『犯人と二人きり』高野 和明／著 《Fタ》

ミステリーをベースに、ホラー、サスペンス、SF、ファンタジーなどエンタテインメント小説のあらゆる要素を盛り込んだ短編集。「死人に口あり」など、謎が謎を呼ぶ全7編を収録。『オール讀物』掲載などを単行本化。

新着CD紹介

☆モリコーネ・プレイズ・

モリコーネ 《778モ》

☆定番!寄席囃子集 《779テ》

☆柳家権太楼 16 《779ヤ16》

☆ヴィヨンの妻 《913タ》

☆聴くと聞こえる 《913タ》

🎵 見たり聞いたり

～新着CDから
ピックアップ～



『土嵐』土屋 玲子／演奏 《763ツ》

二胡・ヴァイオリン奏者の土屋玲子と作・編曲家の五十嵐淳一の共同作品。ヴァイオリンの繊細な音色と、エネルギー溢れるサウンドプログラミングのコラボレーションをお楽しみください。



11月・12月発表の主な文学賞受賞作品

第79回毎日出版文化賞

文学・芸術部門

『YABUNONAKA-ヤブノナカ-』金原ひとみ／著 《Fカ》

人文・社会部門

『未完の建築 前川國男論・戦後編』松隈洋／著 《523マ》

自然科学部門

『土と生命の46億年史』藤井 一至／著 《613フ》

第78回野間文芸賞

『世界99』上・下 村田沙耶香／著 《Fム1・2》

第47回野間文芸新人賞

『時の家』鳥山まこと／著 《Fト》(群像2025年8月号に掲載)

『カンザキさん』ピンク地底人3号／著(2026年1月刊行予定)

第29回司馬遼太郎賞

『外務官僚たちの大東亜共栄圏』熊本史雄／著 《319ク》

第60回新風賞

『国宝』上・下 吉田修一／著 《Fヨ1・2》